



人権だより

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

■知らないから気づかない

先日、筑前町の人権講演会に行きました。講師である吉岡 綾さんは、10代の頃から何度も差別された経験があり、その度つらい思いをし、逃げていたそうです。母親に話すと「綾、逃げてもどうにもならんとよ。あんたがしっかり勉強（人権・同和）せんやったからよ。」と言われたそうです。学校で同和教育を受けたけど、他人事だったと綾さん。やっぱり正しく学ばないと偏見や差別に気づかないし断ち切ることができないと、今は部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくそうと活動されています。

■聴きたかったなあ…

ある新聞に連載された「記者28歳『私は部落から逃げてきた』」の執筆者である西田昌矢さんが小都市と朝倉市で講演されると知り、聴きに行こうと心待ちにしていました。ところが、7月の豪雨で人権講演会がどちらも中止となってしまい、聴くことができず残念な思いをしました。

隣保・人権同和教育係として、人権教育・啓発をする立場でありながらも人権感覚が完璧に備わっているわけではありません。日々研鑽を積むことが必要と考えています。

■だから「人権・同和问题地域懇談会」で一緒に学びましょう！

1971（昭和46）年に始まったこの地域懇談会も、今回で50回目を迎えます。

「人権文化の町」を目指して取り組んできました。その甲斐あって、住民の皆さんの人権意識も高まったと感じています。しかし、学ばずにいるとせっかく高まった人権意識も少しずつ薄らいでいきます。誰が言ったか定かではありませんが、「人生、一生勉強」という言葉を聞いたことがあると思います。いくつになっても学べるということは素晴らしいですね。

今月中旬頃に各行政区の日程表を配布します。一緒に学びましょう！！